

令和 4 年第 1 回帯広市公営企業経営審議会 議事録

日 時 : 令和 4 年 2 月 22 日 (火)

10 時 00 分～11 時 30 分

場 所 : 帯広市役所 10 階 第 6 会議室

事務局

定刻となりましたので、ただいまより令和 4 年第 1 回帯広市公営企業経営審議会を開催いたします。開催に先立ちまして、第 22 期帯広市公営企業経営審議会委員の皆様、中野雅弘公営企業管理者より委嘱状を交付いたします。なお任期は、令和 6 年 2 月 21 日までとなります。

それでは、五十音順にお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立願います。

委嘱状交付

事務局

以上で委嘱状の交付を終了させていただきます。

なお、帯広ガス株式会社 石田 弘樹様、帯広消費者協会 櫻井 智恵様、北海道社会事業協会帯広病院 杉林 光則様、帯広市家庭教育学級 高山 なぎさ様、北洋銀行帯広中央支店 津山 博恒様、帯広市 PTA 連合会 野田 和宏様につきましては、本日も都合により欠席されています。

続きまして、本審議会委員にご就任されました方々を五十音順にご紹介させていただきます。

最初に、帯広畜産大学 耕野 拓一様でございます。

次に、帯広友の会 柴崎 浩子様でございます。

次に、一般公募 高井 恵子様でございます。

次に、一般公募 高野 さゆり様でございます。

次に、北海道電力ネットワーク(株)帯広支店 高橋 章様でございます。

次に、帯広商工会議所 田中 克宜様でございます。

次に、北海道税理士会帯広支部 干場 慎也様でございます。

次に、連合北海道帯広地区連合会 宮本 まゆみ様でございます。

最後に、帯広市川西農業協同組合 山根 康弘様でございます。

皆様、どうぞよろしくお願いたします。

次に、本日出席の上下水道部職員の紹介をさせていただきます。

事務局

上下水道部長の倉口でございます。どうぞよろしくお願いたします。

帯広市公営企業は、現在、中野公営企業管理者の下、1 部 2 室 4 課 80 名の職員で

運営しております。それでは、出席職員を紹介いたします。

上下水道部技術室長の太島です。総務課長の鈴木です。

総務課長補佐の小松です。総務課財務係長の永守です。

総務課主任補の佐藤です。総務課主任補の小笠原です。

総務課係員の葛西です。

料金課長の森田です。料金課長補佐の遠藤です。

水道課場長の馬淵です。水道課長補佐の唯野です。

下水道課長の秋田です。

事務局を担当しております、総務課主任補の江原です。総務課係員の山口です。

以上よろしく願いいたします。

事務局

続きまして、中野管理者よりご挨拶を申し上げます。

管理者

改めまして、皆さんおはようございます。帯広市公営企業管理者の中野と申します。どうぞよろしく願いいたします。私も2年ほど前、管理者として就任するまで、水道・下水道の一利用者としての経験しかございませんでした。今後も皆様からご意見をいただきながら、勉強していきたいと思っております。

本日は、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルスの第6波の感染拡大がこれまでにない勢いで続いておりますが、この審議会は、本市の水道事業及び下水道事業の運営について、委員の皆様には様々なお立場から直接ご意見をいただき、ご議論いただく大変貴重な機会でありますことから、本日は、感染防止対策に十分配慮しながら開催させていただくことといたしました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

先ほど委嘱状をお渡しさせていただきましたが、今回の改選に伴いまして、15名の委員のうち5名の方に新たに就任していただきました。

本来であります、委員の皆様には上下水道事業の中心となる施設である稲田浄水場や帯広川下水終末処理場等の施設をご覧いただき、事業への理解を深めていただくことが大切であると思っておりますが、このような状況下でありますことから、本日はスライドをご覧いただくなど、出来るだけわかりやすい説明に努めたいと考えております。今後、感染の拡大状況等を見ながら、別途、施設見学を実施出来ればと考えております。

さて、言うまでもなく、水道・下水道は、市民生活や経済活動に欠くことのできない重要なライフラインでありますことから、常に「安心」できる水を「安定」して、かつ「安価」にお届けすることが私達公営企業の使命であると考えています。

このため、中長期的な経営戦略として2020年から2029年までの10年間の計画期間とした「おびひろ上下水道ビジョン」を策定し、事業を実施しております。

しかしながら、今後、人口減少に伴って使用水量と利用料・使用料収入の減少が見込まれる一方で、施設の老朽化に伴う更新や耐震化等による投資額の増加が見込まれており、全国的にも上下水道事業の大きな課題となっています。

これらの課題に適切に対応しつつ、将来にわたって上下水道事業を安定的に運営するため、長期的な視点に立った取り組みを現段階から始める必要があると考えており、様々検討を進めているところであります。

本日は、令和4年度予算の概要などについてご報告させていただきますが、皆様には本日の報告事項に限らず、日頃より上下水道についてお感じになられている事などについてもご意見をいただければ幸いと存じますので、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます、開催のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 帯広市公営企業経営審議会規程第3条第2項の規定に基づき、委員15名のうち9名が出席していますので、本日の審議会は成立いたします。

事務局 今回は改選期でありますので、本審議会の会長、副会長の選任をさせていただきます。帯広市公営企業経営審議会規程第2条第2項の規定に基づき、会長、副会長を委員の互選により定めることとなっております。

会長が選任されるまでの間、事務局で進行させていただきますので、ご了承いただきます。どなたか立候補される方、または推薦される方はいらっしゃいますか。

委員 よろしければ、私から推薦させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 それではご推薦をいただきたいと思います。委員よろしくお願いいたします。

委員 会長には、在任期間が一番長く審議会への理解が深い耕野委員を、副会長には、在任2期目の干場委員を推薦いたします。

事務局 他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

各委員 なし。

事務局 それでは、会長につきましては耕野 拓一（こうの ひろいち）委員、副会長につきましては、干場 慎也（ほしば しんや）委員に決定としてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

事務局 それでは、恐れ入りますが、会長席、副会長席にお着きの上、就任のご挨拶をお願いします。

会長 会長を務めさせていただくこととなりました、帯広畜産大学の耕野と申します。よろしく願いいたします。

年度末近く、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。公営企業経営審議会について、初めての方も多いと思いますが、どのようなことを話しているのかイメージがわからない方も多いかと思います。身近な例ですと、水道料金の改定が挙げられます。以前、料金改定について審議や答申をいたしました。我々の身近な生活に関連することを審議する重要な場です。審議会ということで、堅いイメージを持たれている方もいらっしゃるかもしれませんが、市民目線で肩の力を抜いて活発な審議を行いたいと思いますので、限られた時間ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。

事務局 ありがとうございます。続きまして干場副会長お願いいたします。

副会長 改めまして、税理士の干場と申します。よろしく願いいたします。私はまだ 2 期目、しかも 1 期目の後半は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、ほとんど何もできませんでしたので、1 期目の皆様とほとんど変わらない知識しかない状況です。

また税理士は数字に強いイメージがあるかもしれませんが、公会計と企業会計とはまったく異なりますので、皆様と共に頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、審議へ入りたいと思います。当審議会規程に基づき、耕野会長に議事進行をお願いいたします。

会長 それでは本日の議題に入りたいと思います。報告事項(1)「令和4年度予算概要について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1「令和4年度 水道・下水道事業会計の予算案」についてご説明いたします。

上下水道事業会計の歳出予算規模につきましては、資料上段中央にありますように、155億3,100万円となり、前年予算との対比では、上下水道事業会計ともに建設改良費が増加しているため5.5%の増となっております。

まず左側、水道事業会計についてであります。左側にグラフ、右側と下段に計数を整理した表を表示しております。円グラフは二重となっており、上半分が収入、下半

分が支出、外側が水道事業、内側が簡易水道事業となります。

右側の表、収益的収支の水道事業収益は、約 42 億 8,800 万円となっており、前年度対比約 100 万円の増となっております。簡易水道事業収益につきましては、約 2 億 1,100 万円となっており、前年度対比約 2 千 600 万円の減となっております。

左側の円グラフをみていただきますと主な内訳としましては、給水収益(水道料金)が約 1,300 万円減、他会計負担金などが約 1,700 万円の増となっております。カッコ内につきましては、前年対比増減を示しております。簡易水道事業収益につきましては、長期前受金戻入が約 3,200 万円の減となっております。

その右側の表、水道事業費用につきましては、約 36 億 4,100 万円となっており、前年度対比約 1 億 1,200 万円の減となっております。主な内訳としましては、維持管理費や企業債の借入金利息の減となっております。簡易水道事業費用につきましては、減価償却費などの減などにより前年度対比約 2,200 万円の減の約 2 億 5,500 万円となっております。

続きまして、資本的収支になりますが、右側の表、水道事業資本的収入は、建設改良費の増加に伴う国庫補助金や企業債借入金などの増により約 8 億 6,500 万円、前年度対比約 7,700 万円の増となっております。簡易水道事業資本的収入はほぼ横ばいであり約 2 億 3,000 万円、前年度対比約 100 万円の増となっております。

水道事業の資本的支出につきましては、約 31 億 5,000 万円、前年度対比約 1 億 6,800 万円の増となっております。主な内訳としましては、配水管の整備や大空学園の緊急貯水槽整備、中島配水場及び帯広の森減圧弁室の施設更新工事などの建設改良費が約 1 億 7,100 万円の増となっております。簡易水道事業も同様に、企業団からの受水に係る送水管布設工事などの増加に伴い資本的支出では約 2 億 7,200 万円、前年度対比約 1,100 万円の増となっております。

次に純利益についてであります。下段の表になります。水道事業では、約 4 億 7,300 万円の利益となっておりますが、前年度対比では約 9,800 万円、26.2%の増となっております。簡易水道事業では、約 4,800 万円の純損失となり、前年度対比約 300 万円、5.9%の損失増、水道事業会計の合計では約 4 億 2,500 万円の利益となり、前年度対比では約 9,600 万円、29%の増となっております。

一番下段の表になりますが、令和 4 年度末の累積資金残高では、水道事業については、約 1 億 6,700 万円の減の約 17 億 5,900 万円となる見込みであります。また、簡易水道事業では 約 2,000 万円の減の約 1,500 万円となる見込みであります。水道事業会計の合計では約 17 億 7,300 万円となる見込みであり、前年度対比では約 1 億 8,800 万円、9.6%の減となる見込みであります。なお、「おびひろ上下水道ビジョン」の収支計画と比較しますと、令和 4 年度末の累積資金残高では、約 4,200 万円の増となっております。

次に、右側、下水道事業会計についてであります。円グラフの外側が下水道事業、

内側が農村下水道事業となります。

右側の表になりますが、収益的収支の下水道事業収益は、約 51 億 2,100 万円、前年度対比約 4,700 万円の増となっております。農村下水道事業収益は、約 1 億 5,200 万円、前年度対比約 1,000 万円増となっております。

その下の表、下水道事業費用につきましては、約 45 億 400 万円、前年度対比約 1 億 3 千 500 万円の増となっております。主な内訳としましては、維持管理費や資産減耗費の増となっております。農村下水道事業費用につきましては、約 1 億 4,600 万円、前年度対比約 800 万円の増となっております。主な内訳としましては、維持管理費などの増となっております。

続きまして、資本的収支の右側のグラフ部分になりますが、下水道事業資本的収入は、建設改良費の増加に伴う国庫補助金や企業債借入金などの増により約 13 億 3,200 万円、前年度対比約 4 億 500 万円の増となっております。農村下水道事業資本的収入は、国庫補助金などの増などにより約 8,200 万円、前年度対比約 2,100 万円の増となっております。

下水道事業の資本的支出につきましては、約 34 億 3,200 万円、前年度対比約 5 億 9,500 万円の増となっております。主な内訳としましては、汚水処理統合に伴う圧送管整備や帯広川下水終末処理場の施設更新などの建設改良費が約 6 億 7,700 万円の増、企業債償還金が約 8,200 万円の減となっております。農村下水道事業資本的支出は、建設改良費の増により約 1 億 3,100 万円、前年度対比約 2,200 万円の増となっております。

次に純利益についてであります。下段の表になります。下水道事業では、約 5 億 7,200 万円の利益となっており、前年度対比では約 9,000 万円、13.6%の減となっております。農村下水道事業では、約 700 万円の利益となっており、前年度対比では、5.2%の減となっております。下水道事業会計の合計では約 5 億 7,800 万円の利益となり、前年度対比では約 9,000 万円、13.5%の減となっております。

一番下段の表になりますが、令和 4 年度末の累積資金残高では、下水道事業については、令和 4 年度末で約 1 億 4,300 万円の減で約 10 億 7,900 万円となる見込みであります。また、農村下水道事業では、ほぼゼロになる見込みであり、前年度対比では約 1 億 4,300 万円、11.7%の減となる見込みであります。なお、「おびひろ上下水道ビジョン」の収支計画と比較しますと、令和 4 年度末の累積資金残高では、約 1 億 8,400 万円の増となっております。

水道・下水道事業会計ともに、安定経営が確保できる見込みとなっております。予算のご説明につきましては以上でございます。

会長

続きまして、資料 2 の説明をお願いいたします。

それでは、資料 2「令和 4 年度 水道・下水道事業会計の予算編成における主要事業」を説明させていただきます。

最初に上下水道の主な施設をご説明いたします。

水道の施設として、帯広市の水道水を作っております稲田浄水場、市内へ水を配水するための南町配水場、十勝中部広域水道企業団から水を受け市内へ配水する別府配水池、帯広西地区の水圧を調整します帯広の森減圧弁室、大正・愛国地区に配水します中島配水場、簡易水道事業の施設といたしまして、大正配水池、八千代・川西方面の水道水を作る川西浄水場及び配水池、岩内地区の岩内浄水場と配水池でございます。

下水道事業では、市内中心部及び東地区の汚水を処理いたします帯広川下水終末処理場、1市3町の汚水を処理いたします北海道所管の十勝川流域浄化センター、清川地区の清川下水処理場でございます。

それでは、令和 4 年度の事業内容をご説明させていただきます。

(1) 安全安心な施設の機能保全についてでございます。

水道事業では、中島配水場等の機器更新といたしまして電気・機械設備の更新を令和 4 年度から 2 か年で行い、帯広の森減圧弁室設備更新工事を 2 か年継続工事で実施する予定であります。簡易水道事業につきましては、岩内浄水場等設備更新の実施設計を行います。その他、道路工事等に伴う配水管整備、また、簡易水道地区では、昨年に続き、川西浄水場を企業団受水切り替えのための送水管工事を実施いたします。

下水道事業では、管路長寿命化といたしまして大空地区等の整備、帯広川下水終末処理場の汚水処理統合に向けた圧送管の整備に着手いたします。帯広川下水終末処理場では引き続き汚水処理統合のための改修工事を行います。農村下水道につきましては、清川下水処理場の保全計画の策定、合併浄化槽の設置を予定しております。

(2) 災害に強い強靱な施設づくりについてでございます。

水道事業では、配水管整備の耐震化工事について、工事延長 9,530mを予定し、「おびひろ上下水道ビジョン」の目標進捗状況は、耐震化適合率 90.0%に対し令和 4 年度末 85.8%、前年対比 0.7%上昇を予定しております。その他、大空地区義務教育学校の整備に伴います緊急貯水槽の新設、中島配水場の耐震補強工事、稲田浄水場の浸水対策として止水板や止水堰の設置を行います。

下水道事業では、雨水管整備といたしまして浸水地区の帯広高等看護学校周辺、バラト地区、新工業団地の雨水管整備 755mを予定しております。「おびひろ上下水道ビジョン」の目標進捗状況は、雨水整備率 76.3%に対し令和 4 年度末 73.5%、前年対比 0.4%上昇を予定しております

(3) 持続的な経営確保につきましては、帯広市開拓 140 年・市制施行 90 年記念行事の取組みや不掘削構造のメーター更新を行います。不掘削筐への更新は、現在お客様の自宅にあるコンクリート製の筐はメーター更新の 8 年ごとに地面を掘り交換を

行っていましたが、不掘削筐へ交換することにより、今後は交換時間が短縮され、水道の使用できない時間が短くなります。

利用者サービスの向上では、キャッシュレス決済の導入、口座振替キャンペーンを予定しております。

次に、水道法で定められております残留塩素測定につきましては、地域の方に委託し毎日検査を行っておりますが、依頼を受けていただける方が年々減少し、委託先の確保が課題となっていました。そのため自動化するための機器を令和2年度より設置しています。令和4年度は、3基設置で完了する予定です。

また、健全経営の持続に向けた取組みの検討・実施では、上下水道事業の将来を見据えた健全経営の持続及び経営基盤の強化を図るため、経営改善プランを策定し官民連携や業務改善等の検討・実施を進めます。

一番下段の工事請負費ですが、総額で約31億8,923万円、前年対比20.5%の増となっております。主な要因ですが、水道事業では大空義務教育学校に緊急貯水槽を整備し、簡易水道事業では受水切り替えのための工事費の増、下水道事業におきましては、汚水処理統合に向けた工事、圧送管新設等が主な要因でございます。説明は以上でございます。

会長 　　ただいまご説明いただいた内容につきまして、委員の皆様からご意見・ご質問をお受けいたします。

委員 　　資料2(2)大空地区の緊急貯水槽の新設について、緊急貯水槽は市内にいくつあるのでしょうか。また、今回なぜ大空地区に緊急貯水槽を設置するのか伺います。

事務局 　　現在、緊急貯水槽は大空小学校に設置されているものを含め、市内に12基あります。これは約13万人の水を確保するものです。

今後、大空小中学校が統合され義務教育一貫校となり、現在の大空中学校に防災機能も含めて集約されるため、新たに緊急貯水槽を設置するものです。また、現在大空小学校にある緊急貯水槽を有効活用し、災害時に医療機関等に水を運ぶ際の、給水タンク車の給水所として使用する予定です。

委員 　　2点あります。1点目、機器の更新の基準は何でしょうか。どの程度の年限で更新するものなのでしょうか。2点目、耐震化について、耐震化のレベルはどれくらいでしょうか。どの程度のレベルに耐え得るのか、この2点について伺います。

事務局 　　機器の更新についてですが、法定耐用年数を基準としています。土木構造物60年、電気機器15年といった基準がございまして、日頃の維持管理に努め可能な限り延命

するよう心掛けておりますが、「おびひろ上下水道ビジョン」を進める中で、法定耐用年数を超えるものを更新していく予定です。

事務局 千島海溝地震の発生が予測されるという長期評価が公表され、帯広市においても喫緊の課題として取り組んでいるところでございます。耐震化のレベルについてですが、水道・下水道を含めた土木構造物について、国を基準として、阪神・淡路大震災の直下型地震をモデルに、マグニチュード7.3に耐え得る構造を想定しています。

委員 水道料金の納付について、コロナ禍において仕事が減少したり、やむを得ず働けない方がいらっしゃると思いますが、水道料金を納付できない人はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。

事務局 収納率で捉えておりますが、コロナ禍において過年度分の収納率のうち、滞納されている方の収納率は落ちています。現年度分は給付金や消費が抑えられているのか、収納率に大きな影響はございません。令和2年度末水道料金分につきまして、収納率93.64%で、これは納期限までに納付された分になります。2か月後だと収納率約98%となります。

委員 配水管の更新についてです。昨年、全国的に配水管が古いために断水が長く続いた等、ニュースになっていました。全国的に耐用年数の40年を超えている配水管が15%超とも言われていますが、帯広市において40年を超えて更新されていない配水管はどの程度あるのでしょうか。

事務局 配水管において、40年が一般的な耐用年数となっておりますが、帯広市は地盤が良く、ダクタイル鋳鉄管だと80年もつという検討結果となっております。過去用いられていた塩化ビニル管は漏水がおこる可能性があり、40年で更新しています。今後、10年で80kmを更新予定です。

会長 他になければ、報告事項(2)「ペットボトル『おびひろ極上水』事業の見直しについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局 昨年8月31日に書面会議で開催された経営審議会でもご説明させていただきましたペットボトル「おびひろ極上水」事業の見直しについて、方向性をまとめましたので、報告させていただきます。

資料3をご覧ください。1. ペットボトル事業の目的と経過について、平成19年度より「おびひろ極上水」を製造し、おいしい水のPRや帯広市のイメージアップ、

「フードバレーとかち」の情報発信ツールのひとつとしても活用してきましたが、平成30年度以降は赤字の状況が続いていることからペットボトル事業の見直しについて検討を行ったものです。

2. 現状では、販売・使用本数は、減少傾向が続き、平成30年度以降は製造単価が卸値を上回り赤字の状況が続いております。

3. 見直し検討の視点ですが、(1) 事業の効果につきましては、おいしい水のPRや帯広市のイメージアップなどに一定の効果があったものと考えておりますが、格安ペットボトルが普及したことなどによりPR効果は年々薄くなっております。(2) 赤字解消につきましては、赤字を解消するために卸値を値上げや製造単価を現在よりも低減することは困難であり、赤字を解消することは難しいと考えております。(3) 廃止した場合の影響につきましては、市長部局では廃止した場合でも各事業の展開に大きな影響はないと考えております。上下水道部では、廃止した場合は他の手法によりPRの充実を検討する必要があります。(4) 道内主要都市の動向につきましては、道内主要都市では多くの市が事業を終了しており、現在もペットボトルの一般販売を継続している自治体は、苫小牧市と釧路市の2市のみとなっております。(5) 環境面への配慮につきましては、プラスチックの循環についての取り組みが進められていることから、配慮が必要であると考えております。

最後に4. 見直しの方向ですが、8月に委員の皆様からいただいたご意見の中でも、ペットボトルの廃止はやむを得ないのではないかと、という意見が多く、ペットボトル事業は一定の成果はありましたが、現在の収支状況等を考慮し廃止いたします。

また、令和4年は帯広市開拓140年記念の年であることから、記念事業のPR用ツールとして活用し、開拓記念期間が終了する令和4年12月末をもって一般販売を含めペットボトル事業を廃止することといたします。

なお、開拓140年記念事業といたしましては、開拓140年記念ロゴ入りの極上水を販売・提供と、転入手続きの際に転入世帯に対して極上水を1本プレゼントする予定です。説明は以上でございます。

会長

全国的に格安の水やお茶があるので、ペットボトルの廃止はいたし方ないと考えます。SDGsに配慮した活動が重要となってきたことから、見直しはやむを得ないと思われませんが、皆様からご意見やご質問はございますか。

委員

帯広にはおいしい水があり、蛇口をひねればおいしい水が飲めるため、ペットボトルの水を買って飲むことはありませんでした。今後、このおいしい帯広の水をどのように広報していくのか、その手立てを伺います。

事務局

現在も小学校での出前講座や各種イベントにて、帯広の水のPRを行っているところ

ろです。今後も上下水道部ホームページや各種イベントの他、新たな手法を検討しつつ充実したPRに努めてまいりたいと考えております。

会長 開拓 140 年記念事業で、ペットボトルを何本程提供するのでしょうか。

事務局 予算では 2 万 4000 本製造できるよう計上しており、ペットボトルの在庫の繰り越し分 1 万 3000 本と想定いたしますと、最大で 3 万 7000 本提供できる予定です。

委員 コストがかかるとは思いますが、おびひろ極上水を使用した炭酸水や日本酒等、帯広の水を利用した加工品を作る予定はありますか。

事務局 現在のところ、予定はございません。

委員 おびひろ極上水の販売場所について伺います。

事務局 藤丸や幸福駅やホテル、スーパー等の 36 施設、コカ・コーラの自動販売機 36 台で販売しています。帯広の水がおいしいと市民の方に再認識していただく他、帯広市外の方にPRすることが目的のため、観光施設やホテルを中心に取扱いいただいております。

委員 おびひろ極上水の値段は。

事務局 卸値は 70～100 円ですが、売値は各事業者にお任せしており、把握しておりません。

管理者 皆様から様々なご意見をいただきましたけれども、おびひろ極上水につきましては、資料の通り、平成 21 年から 10 年程継続して事業を展開してまいりました。おびひろ極上水の製造開始当時、全国的にご当地ペットボトル水が製造・販売され始めたことに合わせ、帯広市も帯広の水をPRするためにペットボトル事業を開始しました。

しかし状況が変化し、製造経費が販売価格を上回り赤字が続いたため、検討した結果、ペットボトル廃止とさせていただきます。

私達は市民の方々の日常生活に関わる事業を行っており、水道・下水道について市民に理解してもらうことを目的とした時に、水道水をペットボトルに詰めて販売することに、どれだけのPR効果があるのかということもございます。

市全体として見ますと、観光客の方を含めた市外の方に対し、おびひろ極上水はツールとして有効であったと思っており、なくなるのは寂しいところもありますが、帯

広市にはその他にも様々な観光資源があります。今後も様々な観光資源を活用し、さらに帯広市のPRに努めてまいりたいと思います。

上下水道部としては、おびひろ極上水の廃止にあたってPRのツールが減ることになりますが、帯広の水がいかにおいしいのか、良い環境で作られているのかということも含めて、市民の皆様幅広く知っていただくために今後とも周知を図っていきたいと考えております。

今現在、上下水道部ホームページでのPR以外に、オビヒロホコテンといったイベントで、帯広の水を試飲していただき、帯広の水のおいしさを理解いただく機会を設けております。

また令和4年は帯広市開拓140年記念事業において、普段開放していない稲田浄水場でどのように水道水が作られているのか実際に見ていただいたり、お子さん向けに水を使ったイベントを行う予定です。このように、帯広の水道事業に触れていただく機会を企画しながら、さらなるPRに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会長 報告事項(2)に関しまして、以上でよろしいでしょうか。それでは次に、報告事項(3)その他について、委員の皆様から何かご意見等はございますか。

委員 技術の継承という観点から、専門的な技術者がすぐ育つわけではないので、技術職員の配置は適正であるのか伺います。

事務局 技術職員の構成は若い職員から再任用職員までおり、その中で技術の継承を行っております。技術職員の配置は今の組織の中でベストな状態と考え、事業を進めております。

委員 資料1の予算の収支について、資本的支出の中で借入金の元金返済が水道・下水道事業会計合わせて約30億あります。単純に収支だけを見ると収入の方が多のですが、支出の中で借入元金の返済が多いことについて、収支規模は健全なのでしょうか。

事務局 企業債残高についてですが、過去、市街地の拡張に伴って水道管・下水道を敷設した際の、建設費の借金を返済しています。現在、拡張する時代ではないため、新たな借金はあまり多くありません。返済している金額の方が多く、借金残高は減少傾向が続いております。「おびひろ上下水道ビジョン」の中でも、これからどんどん借金を減らしていくよう計画しております。これが適切な規模かどうかは難しいですが、現在の水道料金・下水道使用料を維持しながら、借金に頼らない運営をしていかなければならないと考えております。

委員 後の世代に借金が残らないようにして欲しいと思います。

会長 資料 1 に関連して、純利益について、水道事業会計は増減率プラスの 29%、一方で下水道事業会計はマイナス 13.5%となっており、プラスとマイナスではっきり分かれています。何か理由はあるのでしょうか。特に水道事業会計において、純利益が出ているのはどのような要因があるのでしょうか。

事務局 水道事業会計のプラスの要因でございますが、収益がほぼ増減がない状況であるのに対し、費用の方が減っています。収入の方はほとんど変わっていませんが、支出が減少したことにより、収入と支出の差し引きである純利益が増えているということになります。

会長 支出が減少している要因は何か伺います。

事務局 支出の減少要因でございますが、職員給与費が減少した点、また資産減耗費という点で、更新工事において資産入替えの際、資産価値がなくなった資産を廃棄する除却という処置を取ります。その量が令和 3 年度は多かったので、令和 3 年度と比較すると令和 4 年度は更新工事が多くないため、資産減耗費が減少した点が挙げられます。

会長 他になければ、事務局の方から何かございましたらよろしく願いいたします。

事務局 次回の帯広市公営企業経営審議会は、令和 4 年 8 月下旬～9 月上旬頃に開催を予定しています。開催日時が決まりましたら、改めてご案内させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

会長 それでは、本日の審議会を終了したいと思います。どうもありがとうございました。